



# カトリック六甲教会 教会報



## ナルドの花たより

主は人となられ、私たちの日常生活をともに歩まれます。

The Lord becomes man to journey with us in our everyday lives. (12月23日)

いつくしみは希望をもたらします。私たちの心が新たないのちへの希望に開かれるからです。

Mercy gives rise to joy, because our hearts are opened to the hope of a new life. (12月22日)

私たちの喜びは、主が優しさといつくしみ、ゆるしと愛をもって私たちのそばにいてくださるという確信から生まれます。

Our joy comes from the confidence we have that the Lord is close to us with his tenderness, mercy, forgiveness and love. (12月18日)

ゆるしは、御父の愛の最もよく目に見えるしるしです。イエスは人生を通して、そのことを明らかにしようとしました。

Forgiveness is the most visible sign of the Father's love, which Jesus sought to reveal by his entire life. (12月16日)

神の愛は一人一人の心を見通し、そこに隠された最も深い望みを理解します。それはすべてに勝り、最上位に置かれるべきものです。

The love of God, which can look into the heart of each person and see the deepest desire hidden there, must take primacy over all else. (12月15日)

イエスは私たちにこう教えます。常に本質までたどり着き、責任をもって自分の使命を引き受けなさい。

Jesus teaches us always to go to the essentials and to take on our own mission with responsibility. (12月5日)

カトリック中央協議会 教皇フランシスコのツイート (邦訳) より

## 2016 年度第 4 回小教区評議会議事録

- ★ 日 時 : 2016 年 12 月 11 日 (日) 12:00~12:50
- ★ 場 所 : 信徒会館 第 4 会議室
- ★ 出席者 : アルフレド主任司祭、議長団、評議員、その他関係者

### 1. 主任司祭挨拶

現在、アンケートを実施していますが、この教会として回答が余りに少なすぎるということで、1 月末まで延長しました。今回のアンケートは「六甲教会の現状と 10 年後を見据えた取り組みについて」の一つのプロセスのスタートとして大切だと考えています。

### 2. 協議事項

- (1) 2017 年度の活動計画と予算について
- (2) 2017 年度年間行事予定について
- (3) チャリティバザーの献金先について

### 3. 報告事項

- (1) 地区会からの報告
  - ①チャリティバザーについて
  - ②教会大掃除について、
- (2) アンケート調査について
- (3) その他各部、各会からの報告

以上

※ 次回 小教区拡大評議会 : 2 月 11 日 (土・祝) 10:00~ イグナチオホール

---

## チャリティバザー ご報告

12 月 11 日の小教区評議会で 昨年秋のチャリティーバザーの収益金の献金先は以下のように決まりました。ご協力ありがとうございました。(社会活動部)

エリア	献金先	活動内容
神戸	カトリック社会活動神戸センター	野宿者・障害者・外国人支援
釜ヶ崎	子供の里 釜ヶ崎ストロームの家	釜ヶ崎支援 (子供) アルコール・薬物依存者の自立支援
海外	東ティモール学校寄附  ミンダナオ子ども図書館	東ティモール・イエズス会学校 (献金より日本製の学用品を希望、現地に送ります。) ミンダナオ島 (戦争孤児・貧困家庭の子供支援)
近隣	ひらめの家	精神障害・自立支援・生活介護施設
	送 料	東ティモール・フィリピン・タイ等 (USJ 寄贈品の船便送料含む)

<行事報告>

## 祈りと音楽の集い（11月6日）

拝啓 木枯らし吹きすさぶ頃となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日の祈りと音楽の集いでは、初金聖歌隊20周年記念コンサートを開催させていただき、ありがとうございました。慣れない地にもかかわらず、多くの皆様の前で心を込めて歌うことができましたのも、ひとえにアルフレド神父様および三浦様はじめ六甲教会の音楽グループの皆様のご多大なご支援とご協力の賜物と、改めて心より御礼申し上げます。

初金聖歌隊としてイグナチオ教会以外でのコンサートを行ったのは今回が初めてでした。企画した当初は、東京を離れ慣れない教会でのコンサートは本当にうまくいくのだろうか、六甲教会の会衆の皆様は我々を受け入れて下さるのだろうか、様々な不安があったことは事実です。

しかしながら、それは全くの杞憂に終わりました。音楽グループの皆様が、準備段階から労を惜しまず相談にのっていただき、チラシの作成のみならず、六甲教会以外の方々にも幅広くお知らせいただいたうえに、コンサート当日は、面倒なマネジメント一切を取り仕切ってくださったからです。おかげさまで私ども聖歌隊員は歌うことに専念することができました。

加えて、控室の準備や昼食までご用意いただき、至れり尽くせりでどう感謝申し上げたらよいか、言葉もありません。

また、六甲教会も皆様はじめコンサートにお越しいただいた方々は、私どもを家族のように大変温かく迎えてくださり、歌っていて皆様から大きな力を頂戴したことを聖歌隊員一同強く実感いたしました。六甲教会でのコンサートでは、私ども聖歌隊メンバーひとりひとりが言葉に言い表せないほどのすばらしい体験と感動を与えていただきました。重ねて御礼申し上げます。

これを機に、六甲教会の皆様との交流がますます進みますことを心より願っております。

このたびは、本当にありがとうございました。

なお、11月19日には、イグナチオ教会でも主聖堂いっぱいのお客様を迎え、20周年記念コンサートを無事開催することができましたことをご報告させていただきます。

敬具

初金聖歌隊 代表 井上 淳嗣

初金聖歌隊 一 同

初金聖歌隊 指導者 大内 葉子

<行事報告>

## 七五三の祝福（11月20日）

11月20日10時ミサ内にて七五三の祝福がありました。代表の本間大翔君が、「元気なよい子になって、神様をよろこばせることができますようにお守りください」と堂々とお祈りしてくれました。保護者代表の「親の務めを果たせるよう光と力を与えてください」との祈りの後、11人への祝福が行われました。

小さい兄弟姉妹の成長を祝う行事で、皆の輝かしい未来への希望と、教会の健やかなる行く末を祈るばかりです。



<行事報告>

## 野宿者支援のクリスマスチャリティコンサート（12月3日）

昨年12月3日（土）晴天の冬空のもと神戸中央教会で野宿者支援のためのクリスマスチャリティコンサートが開かれました。募金にご協力くださった皆様に厚くお礼申し上げます。

- ・来場者数 195名
- ・支援募金 ① カトリック社会活動神戸センターと、須磨夜回り会に渡しました。  
② 福島県南相馬原町ベースに復興支援として送りました。

当日は、いろいろな教会から全部で10グループの出演者たちがそれぞれの持ち味を生かして素晴らしい演奏を披露してくださいました。当教会からは、黒田久子さんと、清水真理子さん他6名から成るグループ Cantate Domino-rokko が出演者として参加されました。また、わざわざこのために東京から駆けつけてくださった松浦神父様が率いる神父様と有志によるバンドや、チャプリンの格好をしてステッキを持ちながら会場を回って涙と笑いを与えてくれたかつて野宿者だったお



じさん達によるコーラス、そして最後は、会場にいる人みんなが BELIEVE を歌い “I believe in future 信じている” で幕を閉じました。休憩時間には、教会の中庭で炊き出しの温かい中華スープを味わいながら、他の教会の人たちとも歓談し合っ、とても和やかな雰囲気コンサートとなりました。まだこのコンサートに参加されていらっしゃる方も次回はぜひいらしてください。（社会活動部）



<行事報告>

## 第14回クリスマスコンサート（12月11日）

エリック・コロンの魅力的な御指導で続けて参りましたヘンデルのメサイア・コンサートは、カメラータ神戸・六甲教会・教会以外の方々の参加を得、盛会の内に終えることができました。90名ほどの参加者の方達の出会いを通し、御聖堂で歌える意味ある音楽会ができましたこと、心より感謝申し上げます。

終了後、頂きました皆様からの御芳志を六甲教会へ献金させて頂きましたことを御報告いたします。（メサイア実行委員会 藤井 恵津子）



年末恒例のメサイア演奏会が、12月11日に開催されました。

お陰様で、多くの方々の努力で本年度で14回目を迎えました。演奏レベルは、決して上等なものではありませんでしたが、毎年待降節中にメサイアを味わうことは、大変有意義なものであると自画自賛ながら思った次第であります。演奏会が終わった後に、多くの聴衆の皆様から「このメサイアを聞かずには年を越せない」とか「すばらしく感激した」等の賛辞をいただき改めて主催者のひとりとして喜んでおります。イザヤの「荒野で叫ぶ声がする。」ではじまり、「イエスの来臨預言、降誕、イエスの受難、復活、永遠の生命」を歌った「メサイア」は、聴衆の心に大きな感銘を与えたのでありましょう。





最近の世の中は、どうなっているのでしょうか？ 正義はどこにあるのでしょうか？ ロシア、中国などの力づくの行動、イギリスのブレグジットの動き、米国大統領選挙の節度なさ、中東の鳴りやまぬ部族間抗争、欧州へのアフリカ諸国、東欧諸国、中東からの難民移動、朝鮮半島の不穏な状況…。平和を実現する為には、どうしたらよいのでしょうか！！ こうした現在の状況下にあることによって、小生の場合、

むしろ旧約の時代背景が、よく理解できるようになったとの実感は、余りにもアイロニカルであります。内村鑑三もその書のなかで「余は余の国の地図を眺め、その上に泣いて祈った。余はロシアをバビロニアに、ツアーをネブカトネザル（新バビロニア王国の王）にそして余の国を義の神を告白することによってのみ救われる無力なユダヤに比較した」と言っているのに倣う訳ではありませんが…。

エデンを追われた人々のカナーンへの民族移動、新バビロニア、ペルシャ、アッシリア、などなどの覇権の凌ぎあい、ペルシャ戦争、マケドニアのアレキサンダー大王の東征、イスラエル王国の分裂、アッシリアによる北イスラエルの滅亡、そしてその後のローマの圧力等々こうした時代背景下、イザヤは「荒野で叫ぶ者の声がする。主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ」と訴えたこととなります。洗礼者ヨハネがこのイザヤの預言を引用して「悔い改めよ、天の国は近づいた」と叫んでいます（マルコ1章1-8、ルカ3章1-9、ヨハネ1章19-28）。

閑話休題。「悔い改めよ」は、ギリシャ語の「メタノイア」の和訳となっています。聖書学者がよくこの「メタノイア」は「考え、認識を転換する、越える、克服する」が原義であると言いながら、聖書共同訳では、「悔い改める」となっている。「考えを転換する、越える、克服する」が「悔い改める」と訳されていることには小生自身納得が行かぬところではありますが（英文訳では、「RE PENT」となっており、日本語聖書はおそらく英文訳の和訳であろうと推測される。；RE PENT-If you repent, you feel sorry for something bad that you have done in the past-Collins Birmingham Uni.）。

脱線しましたが、ここで主題に戻りますと、つまりこの「メタノイア」が「メサイア」の主テーマであると、小生は解釈しています（ヘンデルは、どう考えたか判りませんが…）。このテーマが、待降節に歌われるというすばらしさを皆さまと共感できれば主催者として幸いこの上ないことであります。

最後に口直しで、アメリカのクエーカーの詩人の歌で締めくくりたいと思います。

「いずこかよりかは知らねど近き香りに 旅人はしばしやすらい歩をとめて  
ゆたかなるその香りをなつかしみ 高き御室の祈りをぞ聞く」

（船井 孝祐）

九月、メサイアの練習が始まりました。毎年お会いする方、初めて参加する方も大勢いらして嬉しくなりました。練習を重ねて12月11日が本番。エリック・コロンの指揮のもと、総勢90余名の皆様と思い切り歌って2016年を締めくくることができました。

1部はカメラータ神戸のメンバーとして参加させていただき、今年もゆりかごの会の皆様とご一緒することができました。コンサートが終わり、出口でお送りする時、笑顔のお客様、友人、思いがけず何年振りかで会えた知人、沢山の嬉しいことがありました。



コンサートに足をお運び下さった皆様はじめ、神父様、六甲教会の皆様、実行委員の皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。(カメラータ神戸 須田 まゆみ)

12月11日、待降節第三主日、この日、3本目のピンクのろうそくに火が灯りました。

お説教の中で、このピンクのろうそくは緊張して過ごす待降節の間にも、少し気持ちをゆったりとして過ごして良いという意味があるとのことでした。

午後、開演の10分前に聖堂に着きましたが、空席を探さないといけない程、沢山の聴衆で一杯。驚きました。2年振りのカメラータの歌声、変わらぬ鼓呂雲先生の指揮のもと、「イエス様の誕生」を高々と歌い上げて下さいました。2部では男性陣が20名近くも加わり、80名のメンバーの歌声は迫力のあるものでした。歌や演奏を聴きながら、近づきつつあるクリスマスの喜びで私たちの胸も一杯になりました。素晴らしいチェンバロの音色、トランペットのソロ等、メサイアを準備して下さいました皆様、楽しいひと時を有難うございました。(インマニエラ 福島きよ子)



<行事報告>

## 六甲教会混声合唱団クリスマス訪問 (12月18日)

六甲教会混声合唱団の皆様へ

先日は寒い中、グランダ御影山手にお越し頂き誠にありがとうございました。

毎年恒例となっている六甲教会の皆様による合唱を今年もご入居者様、スタッフ共々心待ちにしておりました。

合唱団の皆様の美しい歌声はもちろん、クリスマスカラーのお揃いの衣装に、ユーモアあふれる司会、陽気なサンタさんとトナカイさん！素晴らしいクリスマスの訪れに私たちの心も温かく包まれました。クリスマスの歌をはじめ、ふるさとなど懐かしい曲も多く、一緒に歌うことで会場が一つになり、入居者様方もとても楽しまれました。

今年も六甲教会混声合唱団の皆様のお陰で大切な思い出の一頁を作ることができました。心より感謝いたします。

これから寒さも厳しくなって参りますが、お身体に気をつけてお過ごしください。

(グランダ御影山手スタッフ 長谷川 恵美)

---

《各部だより》 各専門部会の活動をお知らせいたします。

### 📖 典礼部

1月8日(日)新年会後 クリスマスの片づけ  
1月14日(土)10:00 典礼部会

### 📖 宣教部

1月22日(日)12:00 宣教部会

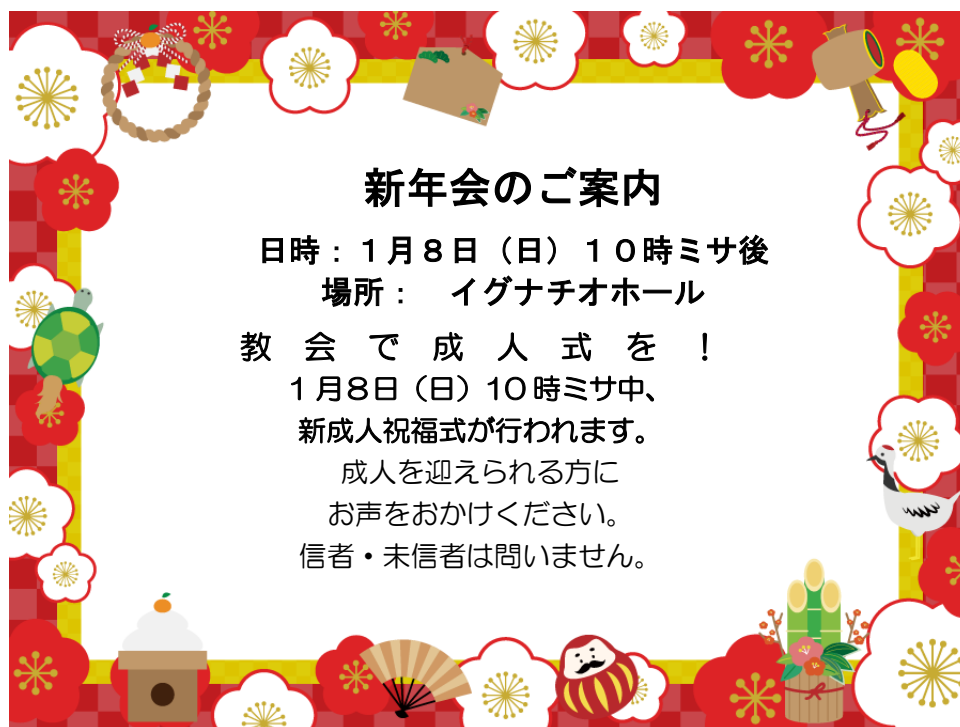
### 📖 教会学校

1月7日(土) 始業式・もちつき

### 📖 三日月会

1月16日(月)14:00 ミサと懇親会

《 お 知 ら せ 》 教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです。



◆ 社会活動部より ◆

**越年・越冬 炊き出し**

1月1日（日）、1月5日（木）

東遊園地（神戸市役所南側） 10時～15時30分

神戸地区カトリック教会の当番日です。

お手伝いできる方よろしくお願ひします！

（お手伝いされた方にも お雑煮、中華丼が出されます。）

- 1月14日（土） 炊き出し （イグナチオホールお台所）  
小野浜グラウンドにて、おじさん達のお話し相手や配食だけでもOKです。
- 1月15日（日） 10時ミサ後 ふれあい広場 （イグナチオホール）
- 1月27日（金） 9時半 ともしび会 ケーキ作り（イグナチオホールお台所）
- 1月29日（日） 13時半 神戸地区社会活動委員会主催 学習会（カトリック住吉教会）  
テーマ 「子どもの命を守るために ～私たちにできること～」

**神戸地区社会活動主催の 学習会のお知らせ**

神戸地区社会活動委員会では、3年ぶりに学習会を開催することになりました。

今回は児童虐待防止機構理事長の島田妙子さん、龍谷大学文学部臨床心理学科教授の森田喜治さん、看護師の橋本佳世子さんをお迎えして講演会を行います。

子どもをとりまく諸問題をいろいろな角度からお話いただき、私たちに何ができるのかを考えていける機会になれば幸いです。ぜひお越しください。

## こどものいのちを守るために

～私たちにできること～

2017年1月29日(日)

世界こども助け合いの日

13:30～16:00(開場 13:00)

カトリック住吉教会聖堂

入場無料

### 「ベタニアの集い」からのお知らせ

20年続いた「ベタニアの集い」が昨年で終了致しました。その間に社会情勢は変化し、介護保険が運用され、施設に入居される方も多くなってきました。奇数月の第3木曜日の午後2時から教会へお迎えして、一緒にごミサに与り、その後の茶話会を楽しんで頂きました。カーボランテニアを引きうけて下さった方、電話でのお話相手をして下さった方等多くの方々の力でベタニアの集いは続いたと思います。私達は多くの先輩会員達に学ばせていただき、いつか行く道、通る道と痛感する事も多い日々でした。

終了に当たり、神父様、社会活動部の皆さまのご配慮に感謝です。

ベタニアの集いスタッフ一同



\*\*\*\*\*

#### 《 図書室からのお知らせ 》

- 図書室のレイアウトを少し変更しました。教会学校の前後の時間を過ごすのに便利なように、子供用本棚(これまで廊下にあった)を図書室内に入れ、利用しやすいようにしました。
- 信徒会館1階の CD・カセットテープを返却される際は、2階ノートへの返却チェックの後、貸出前のあった位置へ戻していただけるよう変更したいと思います。よろしく願いいたします。
- 図書室を有効に生かすための提案や、希望される図書の推薦をお待ちしております。図書室入り口の投書箱または、事務室へお願いいたします。

\*\*\*\*\*

#### 図書室に入った本(12月)

##### ☆ 教皇フランシスコ講話集 3 — ペトロ文庫 カトリック中央協議会

2015年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集。教皇庁定期訪問中の日本司教団への講話、回勅『ラウダート・シ』の教えをさらに具体的に情熱を持って語った、草の根市民運動国際大会(ボリビア)や国連総会での演説、いつくしみの特別聖年開年ミサ説教などを収録。

福音は私たちを変え、生活を変え、心を変える力です。

(以下本文より) わたしたち皆がともに暮らす家は、何らとがめ立てされることなく、強奪され、破壊され、愚弄されています。保護に及び腰であること、それは重罪です。次々と国際サミットが行われても何ら重要な結果を残していないことを、失望を深めつつ見えています。いまだなし遂げられていないことを実行するための、明確で、決定的で、早急な、倫理的な命令があります。世界規模であっても普遍的ではない特定の利益関心が、国や国際組織を占拠し、創造を破壊し続けることをゆるすわけにはいきません。





## みんなの広場

### お正月

明けましておめでとうございます。ご迷惑でしょうが今年もよろしく。

1996年1月1日午前0時、助任司祭の福地神父がミサを捧げました。週報のミサの時刻に0:00とあってだけで特に宣伝はされなかったと記憶していますが、その日の日記に集まったのは約200人と書いてありました。人間が勝手に作った区切りに過ぎないが、1年をミサで始める、願ってもないことです。翌年からこのミサは主任司祭が捧げるようになりました。今年はそれも無くなりました。

2日は例によって書き初め、本来なら朝まだき清水を汲んで墨を磨るのだが、こちらは午後になってから。全部なくなっているはずだった紅星牌の小画仙紙がまだ10反残っています。僕にはもう書く腕力はないし、このままでは遠からずゴミになります。引き取っていただけたら有り難いのですがどなたかいらっしやいませんか。

3日は概ね何もすることなし。現役時代の4日は初出勤、と言えは聞こえはいいが実体は去年の後始末。

お正月と言えは浮かぶのは虚子の名句。お正月の名句は色々あるでしょうが僕の頭に浮かぶのはこの一句だけ。虚子の棒が何だったかは知りません。でも確かにありますよね。

お正月、毎年持ち出す僕の拙詠はこれ。色々言葉を並べてみるが結局ここに落ち着きます。

あらたまのとしあけにけりひととせをみむねのままにいつきまつらむ

でも年末には口にしたくなくなる一首です。何故って。

(ヨハネ 三好榮之助)

### 六甲教会受付 年始休業のお知らせ

2017年1月1日(日)～2017年1月3日(火)

<p>教会報 2月号の発行は1月29日(日)です。 原稿は1月15日(日)までに教会受付へご提出ください。FAX及びメールでも受付いたします。 (広報部) <a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p>	カトリック六甲教会	
	〒657-0061	神戸市灘区赤松町3-1-21
	電話	078-851-2846
	FAX	078-851-9023
	発行責任者	アルフレド・セゴビア
	編集	広報部